

政策 3-1	訪れたくなる魅力的な観光地域づくりを進めます
総合戦略 2-(2)	交流人口増及び地方移住の推進

1 地域資源を活かした魅力ある観光地域づくり

めざす姿

- 魅力的なおもてなしに満足し、「また来たい！」という来訪者が増えている。
- 市民の誇りある観光地として、市内からの来訪者も増えている。

	推移								目標
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R8
観光消費額（百万円）	4,686	4,756	4,954	4,801	4,501	4,383	2,484	2,750	4,600
一人当たり観光消費額（円）	3,806	4,048	3,715	3,948	3,846	3,987	4,329	4,365	4,200

4年度のポイント

- ① 中央アルプス国立公園の保全と活用
- ② 高原観光地の再生事業(駒ヶ根高原グランドデザインの具現化)

①中央アルプス国立公園の保全と活用

- ・ 檜尾小屋リニューアルオープン **新規** 【予算額 7,242千円】
檜尾小屋及びテント場の指定管理の実施（営業開始R4.7月予定）
- ・ 登山道等の年次計画による整備の実施 **継続** 【予算額 5,500千円】
中ア縦走路等の登山道整備や、統一的なデザインによる登山道標の整備を進めます。
- ・ 中央アルプス山岳環境の保全と活用の検討 **継続** 【予算額 1,241千円】
県天然記念物である千畳敷カールや山域全体の保全と活用を検討します。



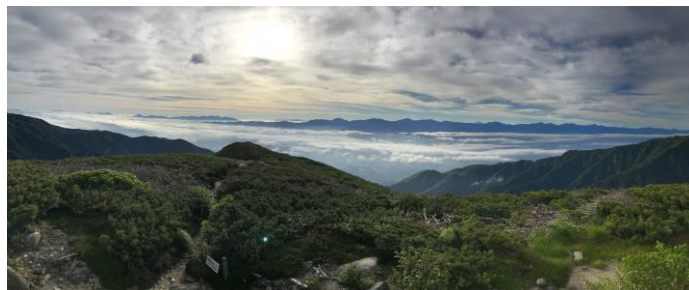
リニューアルした檜尾小屋



檜尾岳テント場



統一デザインによる登山道標



檜尾小屋から望む南アルプスの眺望

②観光拠点施設の整備・来訪者満足度向上

1) 観光施設管理運営事業

- ・ 観光施設の指定管理を実施し、適正で効果的な運営に努める。 **継続** 【予算額 15,351千円】
駒ヶ根ファームス、アウトドア体験広場、駒ヶ根キャンプセンター、こまくさの湯、戸倉山キャンプ場

- ・ 観光施設の適正な維持管理を実施する。 **継続** 【予算額 10,127千円】
観光施設及び駒ヶ根高原一帯の適正な維持管理を行います。
- ・ 駒ヶ根高原温泉開発(株)の支援等 **継続** 【予算額 財政支援 6,000千円 温泉開発基金 15,025千円】
早太郎温泉郷の源泉管理及び温泉供給施設管理の運営支援、温泉開発基金積立



こまくさの湯



アウトドア体験広場



駒ヶ根キャンプセンター

2) 高原観光地の再生事業

- ・ 高原の良好な環境を守り育てるため維持管理を実施する。 **継続** 【予算額 1,216千円】
駒ヶ根・宮田高原を美しくする会など
- ・ 駒ヶ根高原グランドデザイン具現化事業の実施 **継続** 【予算額 2,000千円】
信州大学などと連携し高原におけるWi-Fi環境構築と活用
サイクルツーリズム、駒ヶ根高原周遊プランの造成 実証実験
- ・ 観光施設改修事業 **継続** 【予算額 2,500千円】
こまくさの湯、アウトドア体験広場など施設改修を実施します。



駒ヶ根ファームス



菅の台バスセンター



駒ヶ根高原でワーケーション



サイクルツーリズム

2 高速交通網を活かした広域観光連携

めざす姿

- 魅力ある観光地域づくりができていて、多くの人が集い賑わっている。
- 市内への来訪者が増えている。

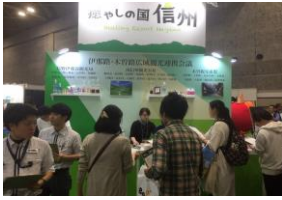
	推移								目標
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R8
観光地来訪者数 (千人)	1,231	1,175	1,334	1,216	1,170	1,099	574	630	1,320

4年度の
ポイント

①魅力ある観光地域づくりの推進

①観光プロモーション活動事業

- ・ 観光誘客キャンペーン・イベントの実施 **継続** 【予算額 1,801千円】
首都圏「銀座NAGANO」や都市部における誘客促進、企業等との連携を通じた誘客戦略
- ・ 広域連携による、誘客促進活動の実施 **継続** 【予算額 1,655千円】



広域連携イベント



京王新宿インフォメーションプラザ



銀座NAGANOイベント



モンベルフレンドフェア

②観光地域づくり推進事業

- ・ 観光まちづくり事業補助金 **継続** 【予算額 1,500千円】
観光振興を目的とするイベント及び団体活動を支援する補助制度
補助率 10/10（限度額：観光振興イベント 30万円、観光振興活動 15万円）
- ・ 中央アルプス魅力体感事業 **新規** 【予算額 3,000千円】
中央アルプスの魅力を体感し、「駒ヶ根ファン」となる市民を増やすために、市民限定の中央アルプスロープウェイの利用補助を行う。
対象者：駒ヶ根市民 利用補助額：大人 1,000円、小中学生 無料



観光振興イベント



観光振興事業



駒ヶ岳ロープウェイ

③地域間交流事業

- ・ 国内における友好都市や食文化を通じた交流を積極的に推進する
磐田市、二本松市、かほく市 **継続** 【予算額 242千円】
- ・ 駒ヶ根市PRキャラクター「こまかつぱ」を活用した観光PRの推進
市内外でのイベントへの参加やノベルティーグッズの製作 **継続** 【予算額 1,100千円】



磐田市「裸まつり」



かほく市「四季まつり」



特産品相互販売



こまかつぱ誕生日会

政策 3-2	移り住みたくなる魅力に富んだまちづくりを進めます
総合戦略 2-(1)	移住・定住・Uターン施策の推進

R4.2
商工観光課

1 移住・定住の推進

めざす姿

- UIJターンで市内に暮らす人が増えている。
- 移住した人と地元の人が互いを尊重し、認め合い、幸せに生き続けられる。

	推 移 (斜体は見込み)								目標
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4~8
UIJターンによる移住者数	38人	62人	80人	152人	144人	94人	154人	120人	650人

※移住者数は推進協議会で関わった移住者数と住宅支援事業制度を利用した移住者数

4年度の ポイント

- ① 情報発信を強化し、子育て世代の新たな移住者の獲得につなげます
- ② 官民連携の協議会によるオール駒ヶ根で定住を促進

① IUJターン相談員及び『信州駒ヶ根暮らし推進協議会』と連携し、若い世代に向けた移住や暮らしにまつわる情報を発信し、移住・定住に繋がります。

② 暮らし・移住情報の発信とワンストップ移住相談

1) 都市部でのセミナーの実施や体感イベント等の実施

継続

【予算額 1,059千円】

- ・移住推進機関でのセミナーやイベントに参加
- ・セミナーの充実を図るため、外部に一部事業を委託し、駒ヶ根市の魅力を効果的に発信。
- ・駒ヶ根市の魅力発信のため相談会を都市部にて実施。
- ・移住された方々の交流機会を増やすために定期的に移住者交流会を開催する。



セミナーの様子



交流会の様子

2) 広告宣伝・啓発

拡充

【予算額 1,347千円】

- ・移住情報誌等への広告掲載（暮らし情報、イベント、分譲地）
- ・ホームページや移住マッチングサービスを活用し、宣伝の強化を図る。

3) お試し滞在事業の実施

拡充

【予算額 800千円】

- ・定住移住に向けた活動をするために移住定住に向けた活動を支援。

対象者 市外に住所があり、本市への移住定住を目的とした活動のために宿泊する方

助成額 一人1泊5千円（1回の滞在で2人で2泊まで）年間5万円上限

対象施設 市と契約した市内宿泊施設（12施設）

4) 空き家片づけ補助金を活用し、駒ヶ根市空き家バンクの登録促進と利活用推進

拡充 【予算額 1,000千円】

- ・市民へ空き家バンク制度の周知を行うとともに、空き家片づけ補助金を活用し、登録の促進と、空き家の有効活用を推進する。

対象者	空き家バンク所有者、売買契約者、賃貸借契約者。
助成額	経費の1/2以内 10万円上限

5) 子育て&移住・マイホーム補助金支援事業

継続 【予算額 20,000千円】

子育て世代の市内への定住を促進し、定住人口の増加及び地域の活性化を図る。□

対象者	市内に住宅の新築工事または購入（新築または中古）の契約を締結した人。 (他に年齢や住所要件等あり)
助成額	新築住宅で最大120万円、中古住宅で最大100万円。

事業実績

(斜体は見込み)

区 分	H30	R1	R2	R3
都市部での相談会来場者数	94組122名	74組106名	101組116名	99名
駒ヶ根体験イベント等参加者数	18組30名	11組21名		
駒ヶ根市来訪者数	117組169名	82組127名	125組189名	128組195名
お試し滞在事業利用数	34組48名	53組81名	57組79名	60組85名
空き家バンク登録件数	4件	5件	5件	8件
空き家片づけ補助申請件数		4件	3件	6件
移住者数(交流促進室関係分)	31組55名	28組56名	28組64名	29組58名

※ R2. 3年度の相談会来場者数はオンラインセミナー参加者数を含む

※ R2. 3年度の体験イベントは新型コロナウイルス感染症の影響により中止

2 関係人口の創出・拡大

めざす姿 さまざまなかたちで駒ヶ根市に思いを寄せる人々が、多様なかたちで、市民とともにまちづくりや地域づくりに関わり、定住人口の増加につながっている。

区 分	推移						目標	
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
ふるさと納税寄附者数(実人数)	12,205	14,225	→	→	→	→	→	16,000

4年度のポイント
 ・ふるさと寄附制度の積極的な推進
 ・高校生の地域探究支援

① ふるさと寄附制度

継続

【予算額 歳入(寄附額) 400,000千円
歳出 203,357千円】

駒ヶ根市では平成27年度以降、返礼品の拡充やクレジット決済の導入、ポータルサイトの複数導入等を進め、駒ヶ根市を寄附先を選んでいただけるよう推進を進めてきました。また、令和3年度には、ガバメントクラウドファンディングにも取り組み、成果を上げることができました。

令和4年度も返礼品の拡充などを進め、さらなる駒ヶ根ファンの獲得を図っていきます。

区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3 (1月末)
寄附額 (千円)	3,090	1,030	7,850	7,160	13,763	353,423	326,202	389,262	224,281	345,176	536,802	515,771

② 高校と連携した人材育成事業(ウミガメプロジェクト)

継続

【予算額 400千円】

【目的】

高校生が、進学や就職という人生の最初の大きな選択をするこの重要な時期に、故郷への関心が高める機会をつくることで、いったんは進学や就職で都市部へ出た若者が、やがて駒ヶ根市に戻ろうと考える動機づけを目指すとともに、コミュニティビジネスの創業や地元企業への就職に向けた支援を行います。

【概要】

市内2つの高校と連携し、各高校の「総合的な探究の時間」を利用し、これまでの産・学・官、また、地域との連携の取組をさらに深めながら、「講座」、「現場体験」及び「職場体験」等を通じ、学びと体験の場から主体性を引き出し、社会に参加する力を高め、地域課題の解決に向け取組を行います。

地域課題探求講座の開催

「総合的な探究の時間」の支援



駒ヶ根工業高校での講座開催 (R3年)



赤穂高校での講座開催 (R3年度)